



【児童数配付】

札幌市立大倉山小学校
ほけんだより No.2
2023.5.2発行

5月8日（水）は 内科検診です

がっこうい しょうにか おかむらあきこせんせい
○学校医の うめつ小児科 岡村暁子先生にみていただきます。

○しんそうの音や、こきゅうのようす（いきをすったときの音）を調べます。

○せぼねやむねのほねがまがっていないかを調べます。（4年生以上は両手を合わせて下に下ろしながらおじぎをして、せぼねをみてもらいます。）

○ひふのびょうきがないかを調べます。

○運動器検診問診票に「気になることがある」と記入した人は、うでや足のようすも調べます。

■保護者の方へ 必ずお読みください

- ・検査は男女で時間を分けて、ついたての中で、上半身裸もしくは、薄手のTシャツや肌着等1枚を着て行います。着衣の場合は、ゆったりとした薄手の服で医師がすそをまくって診察しやすいものを着用してください。上着を脱いだらすぐに診察してもらえよう、ワンピース等ではなく、上下分かれた着脱のしやすい服装で登校させてください。

※ブラジャーを付けている人はブラジャー＋薄手のシャツ1枚可です。

※カップ付きキャミソールの場合はキャミソール1枚で検診を受けます。

- ・髪の長い人は、背骨にかからないように（横2つに分けるなどして）結んでください。



健康診断予定

5月・6月の

ご協力をお願いします



5月10日（金） 耳鼻科検診 1・4年

5月16日（木） 尿検査第2回検査日

6月12日（水） 歯科検診 1～3年・みずなら

6月13日（木） 歯科検診 4～6年



化学物質過敏症とは？

一般的に大量の化学物質や薬品にさらされたり、微量であっても繰り返しあるいは長時間さらされたりして、ある時点から非常に微量の化学物質や薬品に過敏に反応して起こる健康障害と言われています。

反応を起こす化学物質や薬品の種類や量、起こる症状は、人によって様々です。一般に安全であると言われている濃度・質量以下にさらされることでも発症することがあり、誰もが注意しておく必要があります。

「知ること」
がとても大事



化学物質過敏症の原因となる可能性があるもの

原因となるものはさまざまです。また、例えば「インクは平気、ワックスは症状が出る」というように、化学物質すべてに反応するわけではありません。また、原因となるものが増える傾向があり、これまで反応しなかった物質でも症状が出るようになることがあります。

■例えば、家庭から学校に持ち込まれるものとしては・・・

●柔軟剤 ・洗濯洗剤 ・香水 ・化粧品 ・シャンプー ・制汗剤
・たばこ ・芳香剤 ・防虫剤 ・香り付き文房具 ・絵の具 …等

■例えば、学校では・・・

・消毒剤 ・石けん、洗剤 ・ワックス ・塗料
・教科書、印刷物のインク ※文部科学省で、化学物質過敏症の児童生徒に影響の少ない教科書を配布できるようにしています。
・マーカー ・接着剤 ・のり ・墨汁
・電子機器の可塑剤・難燃剤 ・化学薬品 …など

人によって
原因物質が違います。
これ以外にも
原因となるものは
たくさんあります。



一般に「良い香り」とされているものも、香りが強いと人によっては辛い臭いになることがあります。
ですから「香りのエチケット」を皆さんそれぞれが守っていきましょう。

(札幌市教育委員会の資料より)

■保護者の方へ 着替えについてのお願い

学校でお子さんが衣服を汚してしまい、保健室で着替えることがあります。その場合はお貸しした衣服を洗濯したのちに返却していただきますが、その際には柔軟剤等香りの強いものの使用は避けていただくようご配慮をお願いいたします。

また、下着（ショーツ）を汚してしまった場合は衛生上、保健室にある新しい下着に履き替えますので、返却の際は同サイズ程度の新しい下着をご用意してお返しく下さい。（着替えてお子さんが身に着けたものは返却の必要はありません。）

汚れた衣服は感染予防の観点から、基本学校でのお洗濯はできませんのでご了承ください。